

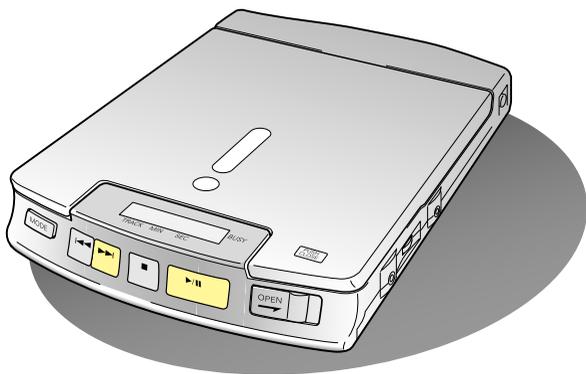
# 取扱説明書

ポータブルCD-ROM ドライブ

# PCP-PR24W

COMPACT  
disc

操作編



パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

- ・ IBMとPC DOSは米国International Business Machines Corporationの商標です。
- ・ MS-DOS®とMicrosoft®とWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ PC-98シリーズは日本電気株式会社の商標です。
- ・ Photo CDは米国Eastman Kodak社の商標です。
- ・ SystemSoftはSystemSoft社の商標です。
- ・ PhoenixはPhoenix Technologies社の商標です。
- ・ その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

高調波ガイドライン適合品

 **PIONEER®**  
—— 音と光の未来をひらく ——

# 使用できるパソコンとソフトウェア環境

## 使用できるパソコン

### DOS/Vパソコン、NEC PC-98シリーズ、またはその互換機

- 3.5インチフロッピーディスクドライブが内蔵されているか外付けにて使用可能な機種。
- PCMCIAタイプ II のスロットを装備。

デスクトップパソコンでご使用になる場合はパソコン用SCSIボード、デバイスドライバ、SCSIケーブル（本機側はハーフピッチ50ピン（ピンタイプ））が別途必要です。



サウンド付きゲーム等のCD-ROMの音を聞くには、パソコン側にサウンド機能が内蔵されているか、サウンドカード等が別途必要です。

### 漢字Talk 7以降がインストールされたMacintosh

- Macintoshでご使用になる場合は、別途、別売のMacintosh用デバイスドライバ（型番：PCP-IF1-PR1M）が必要です。
- Power Bookで使用する場合は、市販のSCSIケーブル（HD25↔ハーフピッチ50ピン（ピンタイプ）コネクタ）が別途必要です。
- DUOシリーズで使用する場合は、さらに拡張ドッグが必要です。
- デスクトップパソコンでご使用になる場合は、市販のSCSIケーブル（D-sub 25ピン↔ハーフピッチ50ピン（ピンタイプ）コネクタ）が別途必要です。

## ソフトウェア環境

- Windows 95
- Windows 3.1
- PC-DOS J6.3/V以上、またはMS-DOS 6.2/V以上
- PCカードドライバ（カードサービス リリース2.0以上）

例) IBM Play At Will 2.0、SystemSoft CardSoft 3.1、Phoenix PCM plus 3.0

### 【ご注意】： Windows 3.1、MS-DOS上で使用する場合

- NEC PC9800NX/C,NL/R,NS/A,PC-9821Neをお使いの場合、PCカードサポートソフトが必要な場合があります。パソコンメーカーにお問い合わせください。
- DOS/Vマシンをお使いの場合、標準でPCカードドライバが添付されていない場合がありますので、ご確認ください。

PCカードドライバに関しては、各パソコンメーカーにお問い合わせください。

# 目 次

使用できるパソコンとソフトウェア環境 .....	2
特 徴 .....	4
別売オプション .....	4
安全上のご注意 .....	5
付属品の確認 .....	11
設置について .....	12
ご使用前に .....	13
各 部 の 名 称 と 働 き .....	15
SCSI-IDとターミネータ設定 .....	19
接 続 ( ノートブックパソコンにつなぐ ) .....	21
接 続 ( デスクトップパソコンにつなぐ ) .....	22
電源について .....	23
ディスクの入れ方 .....	27
ディスクの取り出し方 .....	28
操 作 方 法 .....	29
ディスクについて .....	32
お手入れのしかた .....	33
故障 ? ちょっと調べてください .....	35
アフターサービス .....	38
仕 様 .....	42
ソフトウェアのご使用条件 .....	43
セットアップ編 .....	裏表紙

はじめに

各部の  
名称

設定

接続

操作

お手  
入れ

その他

セット  
アップ

パイオニアでは、インターネットホームページを開設しております。製品の紹介などしております。URL <http://www.pioneer.co.jp>

## 特 徴

パーシャルCAVによる最大24倍速\*の高速データ転送  
持ち運びに便利なクラムシェル型採用の小型軽量設計  
CDプレーヤーとしても使用できる高音質なラインアウト端子、ヘッドホン端子付  
付属小型・軽量ACアダプタ、単3形アルカリ乾電池（AA/ LR6 × 6本）、別売ニ  
カドバッテリーパック（型番：PCP-KT4-PR1J）による3電源駆動方式採用  
ノートブックパソコンにマッチした、SCSI II/PCMCIAカードによるインター  
フェース採用

\* ご使用のパソコンのシステム構成によっては、24倍速未満になる場合があります。

## 別売オプション

- Macintosh用デバイスドライバ  
（型番：PCP-IF2-PRM）
- PCP-PRシリーズ用ニカドバッテリーパック  
（型番：PCP-KT4-PR1J）

この装置は、第二種情報装置（住宅地域又はその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（V C C I）基準に適合しております。しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 安全上のご注意

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵記号の例

	△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。 図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## 危険

### 別売のニカドバッテリーパック

#### （型番：PCP-KT4-PR1J）について

- 別売のニカドバッテリーパックは、本製品以外の用途に使わないでください。破損や、性能・寿命の低下の原因となります。
- 別売のニカドバッテリーパックをショート、分解、半田付けしたり、火中に投入したりしないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 充電端子にはプラス（+）とマイナス（-）の向きがあります。本機に入れるときは、電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 充電するときは、本機以外は使用しないでください



禁止



分解禁止



禁止



禁止

## 危険

- 充電電池の端子のプラス (+) とマイナス (-) を針金などの金属類で接続しないでください。また、金属性のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しないでください。



## 警告

### ご使用は国内のみ

本機は国内専用です。また、接続できる機種が決まっていますので、対象外の機種には使用しないでください。



### 異常時の処置

- 万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなど、異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



### 設置

- ACアダプタのプラグの刃および付近に埃や金属物が付着している場合は、ACアダプタを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



## 警告

- ACアダプタコードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、ACアダプタコードが引っぱられないようにしてください。コードが傷ついで、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。
- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとってください。また、次のような使い方では通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  - ・あおむけや横倒し、逆さまにする。
  - ・押入など、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - ・じゅうたんや布団の上に置く。
  - ・テーブルクロスなどをかける。

### 使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

### 使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 本機通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



禁止



禁止



水ぬれ禁止



風呂場・シャワー室での使用禁止



水ぬれ禁止



禁止



分解禁止

はじめて

各部分  
の

設定

接続

操作

お手  
入れ

その他

セット

## 警告

### ACアダプタについて

- めれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 本機に付属以外のACアダプタを使用することは絶対にやめてください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプタのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加工したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。
- AC電源で使用するときは表示された電源電圧（AC 100V）以外の電圧で使用しないでください。
- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



ぬれ手禁止



禁止



禁止



禁止



接触禁止

### 別売のニカドバッテリーパック

#### （型番：PCP-KT4-PR1J）について

- 別売のニカドバッテリーパックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。
- 別売のニカドバッテリーパックを使用中や充電中、保管時に異臭を発したり、発熱したり、変色、変形、その他異常に気が付いたときには、本体から取り出し、使用しないでください。
- 万一、充電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
- 充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。発熱、破裂、発火の原因となります。



禁止

### アルカリ乾電池について

- 乾電池を充電、ショート、分解、半田付けしたり、火中に投入したりしないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

## 警告

- 機器、バッテリーパック、及び、乾電池は乳幼児の手の届かない所へ保管してください。万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 万一、乾電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。

## 注意

### 設置

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。火災・感電の原因となります。

### 使用方法

- レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

### ACアダプタについて

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
- ACアダプタを取り扱う際は、アダプタ本体をお持ちください。コードを引っ張らないでください。故障だけでなく、火災や感電の原因となります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプタのコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、根元まで差し込んでみのあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。



禁止



禁止



禁止



プラグを抜け



禁止



プラグを抜け



禁止



禁止

## 注意

### 別売のニカドバッテリーパック

#### (型番：PCP-KT4-PR1J)について

- 別売のニカドバッテリーパック以外は使用しないでください。故障の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 水や海水などにつけたり、濡らさないでください。破損や性能、寿命を低下させる原因となります。
- 充電する場合は、周囲温度5 ~ 35 の環境で操作してください。この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、充電電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
- 万一、充電電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。
- 充電電池を直射日光の強い所や炎天下の車内など、高温の場所で使用したり、放置しないでください。発熱・発火・充電電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
- 充電電池は、乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも乳幼児が本体機器から取り出さないように注意してください。
- 充電方法は、この取扱説明書をよく読んで行ってください。
- ご使用済みのニカドバッテリーパックは貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないでニカドバッテリーリサイクル協力店へご持参ください。
- ニカドバッテリーパックを充電しないまま放置しないでください。寿命低下の原因となります。使用されない場合でも、6ヵ月に1回は充電してください。



禁止



禁止



禁止



禁止

### アルカリ乾電池について

- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。破裂、液漏れの原因となることがあります。
- 乾電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れの原因となることがあります。
- 万一、乾電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。
- 使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。



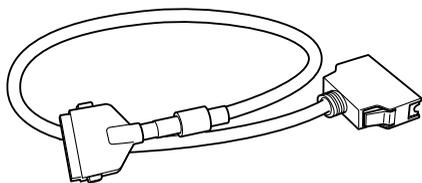
禁止

### 10 (操作編)

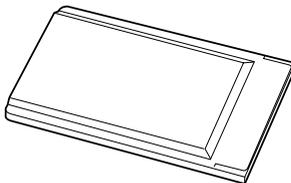
<QRA1073>

## 付属品の確認

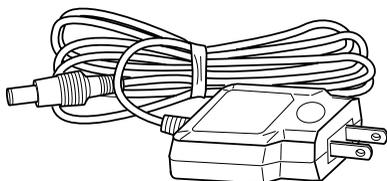
- インターフェースケーブル×1



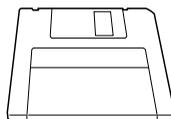
- インターフェースカード×1  
(PCMCIAタイプ II)



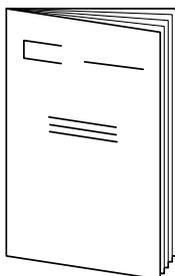
- ACアダプタ×1



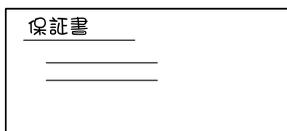
- セットアップディスク×1



- 取扱説明書×1



- 保証書×1



はじめに

各部の  
名称

設定

接続

操作

お  
手  
入  
れ

そ  
の  
他

セ  
ッ  
ト  
ア  
ッ  
プ

# 設置について

## 特に注意していただきたいこと

- 動作中に動かしたり、持ち上げたりしないでください。動作中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、移動したりすると、ディスクに傷を付ける恐れがあります。
- 本機を移動する際は必ずディスクを取り出し、本機の電源を切ってください。
- 本機は、防塵構造ではありません。そのため、ホコリやタバコの煙の多い場所では使用しないでください。

## 設置上の注意

本機は、非常に精密に作られたエレクトロニクス機器です。強い振動、衝撃を避け、高温、多湿の場所に置かないでください。

### ■ 安定した場所に置いてください。

水平で安定した台の上などに置いて使用してください。また、ぐらつく所や、ソファの上などの不安定な所で使用しないでください。

ご注意

垂直に立てて使用することはできません。必ず、バッテリーカバーのある面を下にして設置してください。

### ■ 本機の上に他の機器を載せないでください。

本機の上に他の機器を載せると、キャビネットが変形して故障の原因となります。

### ■ 熱を発生する機器の上に置かないでください。

熱を発生する機器の上に置いて長時間使用すると、ディスクや本機に悪い影響を与えますので、熱を発生する機器の上に直接置かないでください。

## 結露現象について

冬季などに本機を屋外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに露が付きます。

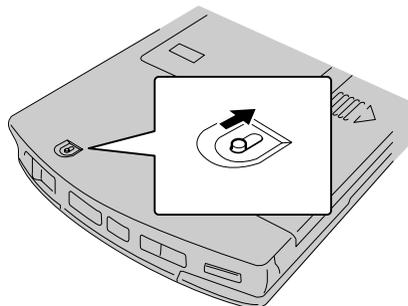
露が付いたままですとレーザー光による信号の読み取りができなくなります。

このような場合は、いったん電源を切って1～2時間程度放置するか、室温を徐々に上げてから使用してください。

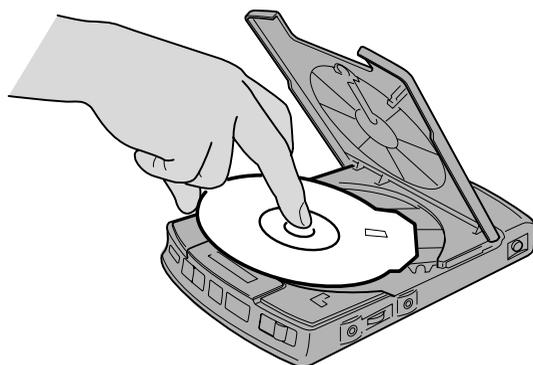
## ご使用の前に

### 輸送用スペースをはずす

- ① 本体電源を入れる前に、本機裏面の非常用オープンボタンをスライドさせてトップカバーをあけてください。



- ② 輸送用スペーサーを静かにはずしてください。



はじめに

各部分の  
名称

設定

接続

操作

お手  
入れ

その他

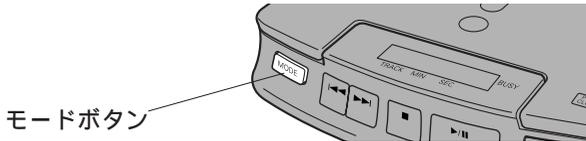
セット  
アップ

## ご使用の前に

### CD-ROM再生時に本体の振動や回転音が大きいときは？

CD-ROM再生時には最大5600回転/分の高速でディスクが回転します。ディスクによっては振動や回転音の大きい場合があります。

そのときは、モードボタンを押し「PSモード」にしてお使いください。くわしくは16ページを参照してください。



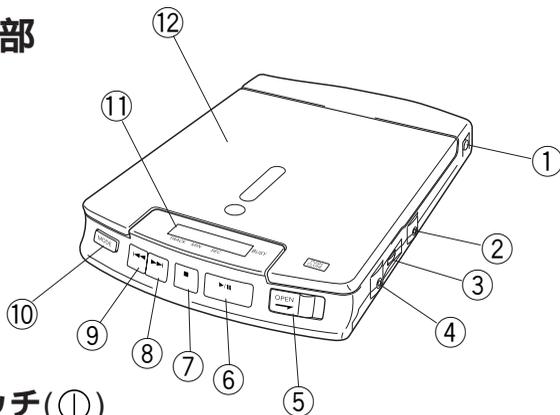
モードボタン

**注意**

電池でご使用になる場合は、節電のために自動的に「PSモード」になります。

# 各部の名称と働き

## 前面、側面部



### ① 電源スイッチ(Ⓛ)

1秒以上押して電源をオン/オフします。表示部に "P- 00" が数秒間点滅します。

### ② ライン出力端子(LINE OUT)

音楽CDの再生信号を出力します。パワードスピーカーやパソコンのサウンドカードと接続します。

### ③ ヘッドホン音量調節つまみ

ヘッドホン端子の音量を調整するときに使用します。

### ④ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続するステレオミニジャックです。

### ⑤ オープンボタン

右にスライドさせると、ディスクの回転の停止後、トップカバーが開きます。

### ⑥ 再生 / 一時停止ボタン

音楽CDの再生に使用します。音楽CDを入れてボタンを押せば再生状態となり、再生状態で押せば一時停止状態になります。

### ⑦ 停止 / 充電開始ボタン

音楽CD再生中に、一度押せば停止します。電源が入っていない状態で3秒間押せば別売のニカドバッテリーパックの充電を開始します。

## 各部の名称と働き

### ⑧ スキップ/サーチボタン (順方向)

音楽CD再生時に押せば、次の曲の初めにスキップして再生します。押し続けると、曲を早送りします。

### ⑨ スキップ/サーチボタン (逆方向)

音楽CD再生時に押せば、再生中の曲の初めにスキップして再生します。押し続けると、曲を早戻しします。

### ⑩ モードボタン

モードボタンを押すと再生モードが変更できます。それに従い再生インジケータの表示も変わります。

#### <CD-ROM再生時>

【高速モード：- HJ -】 最大24倍速相当のデータ転送レートとなります。ACアダプタ使用時に電源を入れたとき、このモードになります。CD-ROM再生中に本体の振動や回転音が大きいと思われる場合は、モードボタンを一回押して次の「PSモード」にしてご使用ください。

【PSモード：- PS -】 ディスク最内周で4.4倍速、最外周では10倍速相当のデータ転送レートとなります。別売のニカドバッテリーパック、またはアルカリ乾電池使用時は、このモードになります。

#### <音楽CD再生時>

【通常再生：無表示】 電源を入れたときに、このモードになります。最後の曲を再生し終わると再生をストップします。

【全曲リピート：C】 最後の曲を再生し終わると最初の曲に戻り再生を続けます。

【1曲リピート：C1】 現在再生中の曲を繰り返し再生します。

【ランダム再生：RANDOM】

ランダムな曲順で再生します。全ての曲を再生し終わると再生をストップします。

【ランダムリピート：CRANDOM】

ランダムな曲順で再生し続けます。

### ⑪ LCD表示パネル

18ページを参照してください。

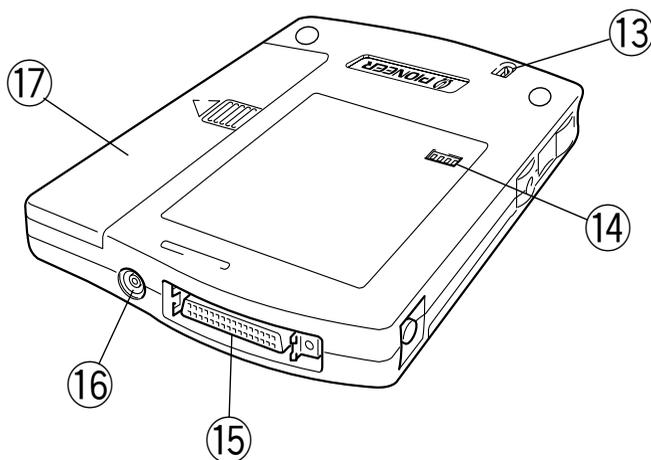
### ⑫ トップカバー

16 (操作編)

<QRA1073>

## 各部の名称と働き

### 後面、下面部



#### ⑬ 非常用オープンボタン

13ページを参照してください。

#### ⑭ SCSI-ID/SCSIターミネータスイッチ

19,20ページを参照してください。

#### ⑮ SCSIコネクタ

インターフェースケーブルと接続します。

#### ⑯ 電源端子

付属のACアダプタを使用して壁のコンセント(AC100V、50/60Hz)に接続します。

付属のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。

#### ⑰ バッテリカバー

はじめに

各部の  
名称

設定

接続

操作

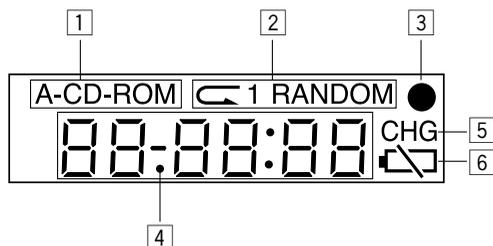
お  
手  
入れ

その  
他

セ  
ット  
アップ

## 各部の名称と働き

### LCD表示部



#### 1 ディスクインジケータ

A-CD-ROM (点滅) : ディスクの種類を判別していることを示します。

A-CD : 音楽CDが入っていることを示します。

CD-ROM : CD-ROMが入っていることを示します。

#### 2 再生インジケータ

◀ : 全曲リピート再生モード

◀ 1 : 1曲リピート再生モード

RANDOM : ランダム再生モード

◀ RANDOM : ランダムリピート再生モード

#### 3 ビジーインジケータ

データアクセス中に点滅します。

#### 4 再生情報 / 動作モードインジケータ

再生情報 : 音楽CD再生時に表示します。

00-00:00

曲番号 再生経過時間

動作モード :

P-ON : 電源を入れたときに数秒間点滅します。

P-OFF : 電源を切ったときに数秒間点滅します。

no disc : 本機にディスクが入っていないことを示します。

OPEN : トップカバーが開いているときに点灯します。

- HI - : 高速モードでCD-ROM再生時に点灯します。

- PS - : PSモードでCD-ROM再生時に点灯します。

#### 5 充電インジケータ

別売のニカドバッテリーパックを充電していることを示します。

#### 6 電池消耗インジケータ

電池残量が少なくなると点灯します。

# SCSI-IDとターミネータ設定

## SCSI-IDの設定

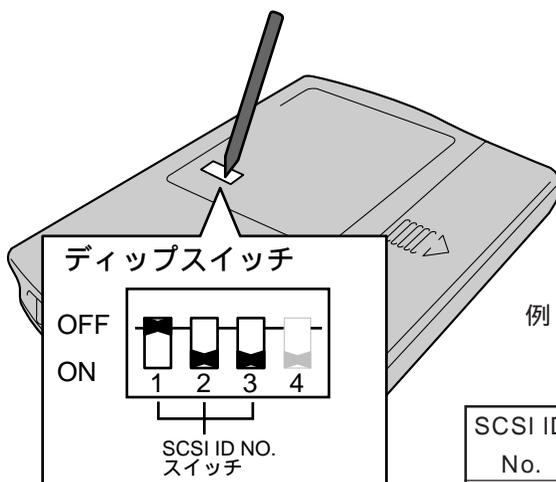
SCSI機器は0～7のID番号で照合されます。出荷時は「6」に設定しています。

### ■ 設定操作

- 下面のSCSI-IDスイッチをボールペンの先などで押し、目的の番号に設定します。

### 【ご注意】

- SCSI IDを設定する際は、必ず本機の電源を切ってください。
- 必ず、他の周辺機器と違うID番号にしてください。
- 通常はそのまま（ID番号：6）ご使用ください。
- 付属のインターフェースカードはID番号：7を使用するので「7」には設定しないでください。



例) SCSI IDを6に設定した場合  
(工場出荷時)

SCSI ID No. 設定表

SCSI ID No.	SCSI ID No.スイッチ		
	1	2	3
0	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF
3	ON	ON	OFF
4	OFF	OFF	ON
5	ON	OFF	ON
6	OFF	ON	ON
7	ON	ON	ON

■ : 工場出荷時

(操作編) 19  
<QRA1073>

はじめに

各部分  
の

設定

接続

操作

お手持

その他

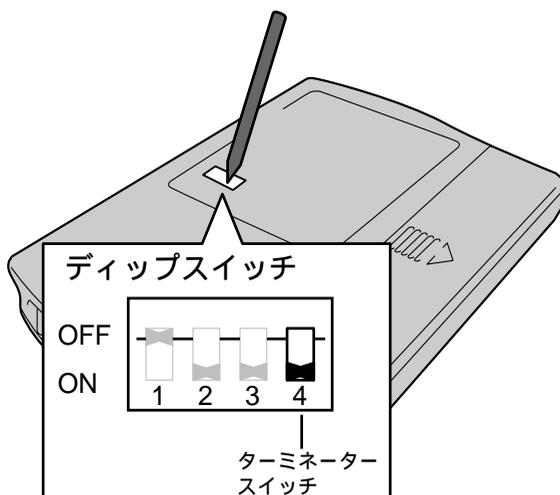
セット

## SCSI-IDとターミネータ設定

### SCSIターミネータの設定

SCSIターミネータは、SCSIディジーチェーンの始めと終わりにおけるライン反射を吸収するため使われる手段です。データ転送の妨害を最小にして本機を正しく動作させるため、SCSIターミネータの設定が必要となります。

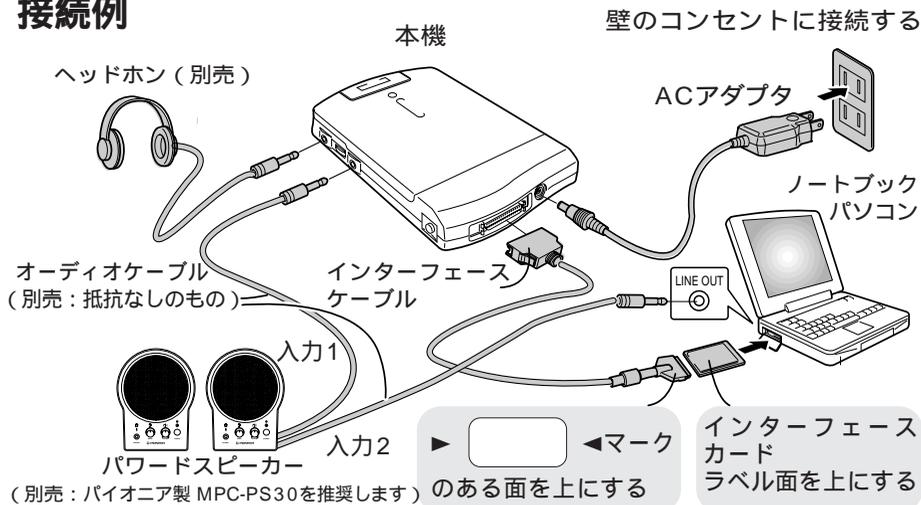
- 本機はSCSIターミネータを内蔵しており、通常はターミネータスイッチをONの位置でご使用ください(工場出荷時はON)。



# 接続（ノートブックパソコンにつなぐ）

- 本機をノートブックパソコンに接続する前に、システムの全ての機器の電源を必ず切ってください（Windows 95で使用する場合はのぞく）。

## 接続例



音楽CDを聞く場合は、パワースピーカー等を本機のLINE OUT端子に接続するか、ヘッドホンでお聞きます。またお使いのパソコンがサウンドブラスター対応の場合、音楽CDの音を本機のLINE OUT端子からパソコンに入力できる場合がありますので、パソコンの取扱説明書を参照してください。

2系統の入力端子付きのパワースピーカーをお使いの場合で、サウンド付きゲームCD-ROM等の音声を再生する場合には、パソコンの音声出力をパワースピーカーの2つ目の入力端子に接続すると、ミックスされた音声を楽しむことができます。（上図）

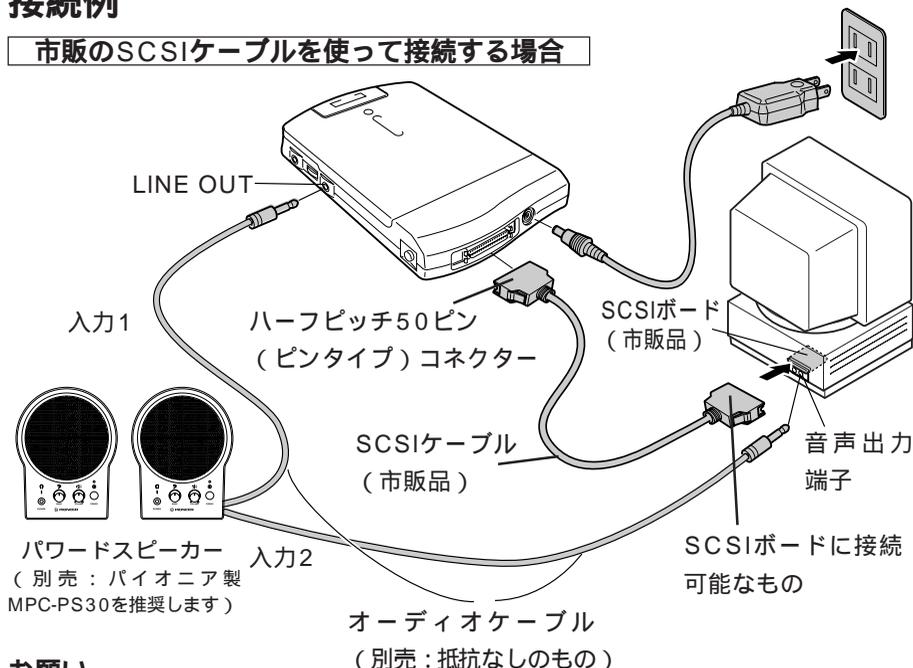
1. 本機のSCSI ID番号を他に使われていない番号に設定する。
2. 本機の内蔵ターミネータをオンにする。  
【ご注意】 通常のご使用では、手順1、2は操作する必要はありません。
3. 付属のインターフェースカードをノートブックパソコンのカードスロットに差し込む。  
【ご注意】 パソコンによっては、インターフェースカードの挿入面が表裏逆になっていることがあります。
4. 付属のインターフェースケーブルのもう一方を、コネクタの向きに注意して本機に接続する。
5. 付属のACアダプタを本機と電源コンセントに接続する。  
初めてご使用になる場合は「セットアップ編」（裏表紙）をご覧ください。
6. 付属のインターフェースケーブルと付属のインターフェースカードを接続する。
7. 本機の電源を入れた後、ノートブックパソコンの電源を入れる。

# 接続（デスクトップパソコンにつなぐ）

- 本機をデスクトップパソコンに接続する前に、システムの全ての機器の電源を必ず切ってください（Windows95で使用する場合はのぞく）。

## 接続例

### 市販のSCSIケーブルを使って接続する場合



## お願い

- SCSIボードをパソコンへ取付ける場合は、ご使用のSCSIボードに付属の説明書をよくお読みください。
- SCSIケーブルは必ずシールドされた1.5m以下で、本機側コネクタがハーフピッチ50ピン（ピンタイプ）のものを使用してください。また、パソコン側のコネクタは、ご使用のSCSIボードの説明書で確認してご購入ください。
- お持ちのデスクトップパソコンにSCSIボードが装着されていない場合は、別途SCSIボードが必要になります。

推奨SCSIボード：ADAPTEC社製 AHA-2940JまたはAHA-2940AU

お問い合わせ先：アダプテックジャパン株式会社

インフォメーションFAX：0120-80-8450（料金無料ダイヤル）

### 付属のインターフェースカードを使って接続する場合

デスクトップパソコンにPCMCIAタイプIIスロットがある場合は、ノートブックパソコンと同じように接続できます。（21ページ参照）

22（操作編）

<QRA1073>

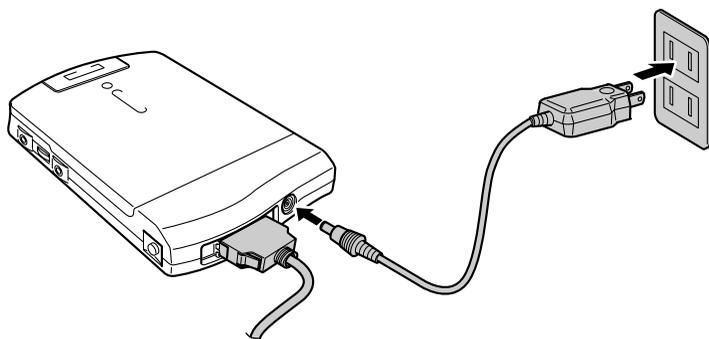
# 電源について

## 家庭用AC電源を使うとき

- 付属のACアダプタをお使いください。

### ACアダプタの接続

1. パソコンの電源を切ってから、後面部の電源端子（DC IN 13V）にACアダプタを接続します。
2. ACアダプタのACプラグをコンセントに接続します。
3. 本機の電源スイッチを押して電源を入れます。
4. パソコンの電源を入れます。



### ⚠【注意】

- 本機より先にパソコンの電源を入れると、本機が認識されず、操作ができない場合があります。必ず電源投入の順序をお守りください。
- 長時間使用しない場合には節電のため、ACアダプタを本機側、コンセント側両方から抜いてください。
- 電源を切るときは先にパソコンの電源を切ってから、本機の電源を切ってください。先に本機の電源を切るとパソコンの操作ができなくなる場合があります。

## 電源について

### ニカドバッテリーパック

#### (型番：PCP-KT4-PR1J) を使うとき

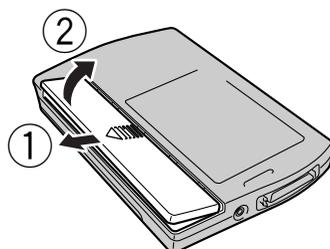
- 別売のニカドバッテリーパックをお使いください。
- 別売のニカドバッテリーパックは出荷のときは充電されていません。あらかじめ充電してからお使いください。



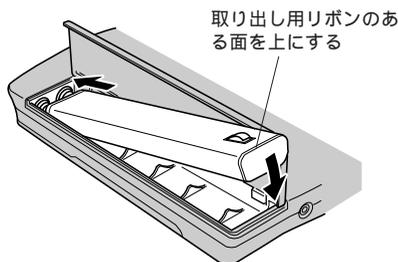
ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

#### ニカドバッテリーパックの入れかた

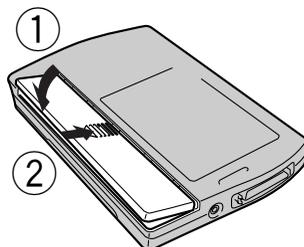
(1) ACアダプタを外し、バッテリーカバーの「OPEN」を押しながら「▷」の方向にスライドしてカバーを開けます。



(2) 別売のニカドバッテリーパックを、右図の向きにして取り付けます。ニカドバッテリーパックが浮かないようにしてください。



(3) バッテリーカバーを閉じます。

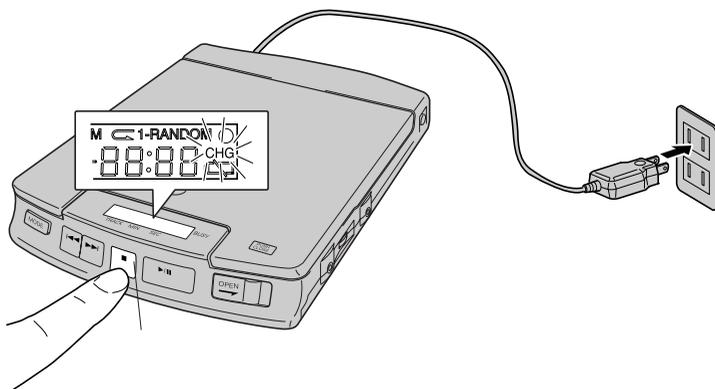


## 電源について

- 別売のニカドバッテリーパックではフル充電すると音楽CDで約1.5時間、CD-ROMで約1時間の連続動作が可能です。  
ただし、高温や低温では能力が低下し、動作可能時間が短くなりますのでご注意ください。
- バッテリーが消耗すると表示部に電池消耗インジケータ (  ) が表示されます。  
すみやかに充電を開始するか、ACアダプタを接続してください。

### 充電のしかた

1. 別売のニカドバッテリーパックを入れたままACアダプタを接続します。
2. 本機の電源を切ります。
3. 停止 / 充電開始ボタン (  ) を3秒間押し続けると表示部に「CHG」が表示され、充電が始まります。
  - 充電中は「CHG」が点灯したままになります。充電が完了すると「CHG」表示は消えます。
  - 充電時間は最大4.5時間です。
  - 充電を中断するときは、電源スイッチを押すと「P-OFF」と表示され、電源も切れます。



- 充電する場合は、周囲温度5 ~ 35 の環境で操作してください。
- 充電動作中は音楽CD再生やCD ROMの使用はできません。

### ご注意

本機を長時間ご使用にならない場合は、ニカドバッテリーパックは必ず取り出しておいてください。

## 電源について

### ニカドバッテリーパックのリフレッシュについて

短い時間での充電、及び、放電を繰り返した場合、ニカドバッテリーパックでの使用時間が短くなる場合があります。この場合には、ニカドバッテリーパックのリフレッシュを2、3回行ってください。

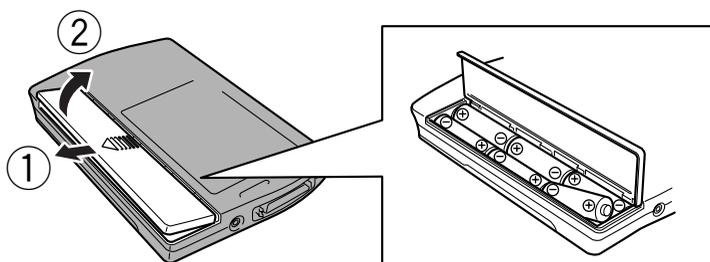
### ニカドバッテリーパックのリフレッシュのしかた

- (1) ACアダプタを外します。
  - (2) 音楽CD再生を繰り返して、電源が自然に切れるまでニカドバッテリーパックを使い切ります。
  - (3) ニカドバッテリーパックを充電します。
- ニカドバッテリーパックのリフレッシュを2、3回繰り返しても使用時間が極端に短い場合には、ニカドバッテリーパックの寿命です。新しいニカドバッテリーパックと交換してください。お求めの際は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

## 乾電池を使うとき

### 乾電池の入れかた

- (1) 単3形アルカリ乾電池 (AA/LR6) をお使いください。
- (2) ACアダプタを外し、バッテリーカバーの「OPEN」を押しながら「▷」の方向にスライドしてカバーを開けます。
- (3) バッテリーケース内に表示されている通りにプラス (+)、マイナス (-) の向きを合わせてアルカリ乾電池 (6個) を入れます。

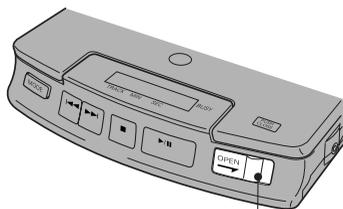


### ⚠️ ご注意

本機を長時間ご使用にならない場合は、乾電池は必ず取り出しておいてください。

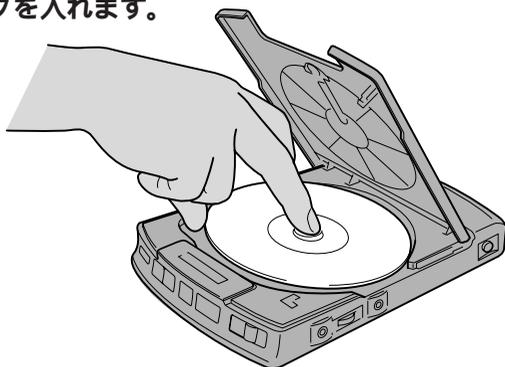
# ディスクの入れ方

- 1 オープンボタンを右にスライドして、トップカバーをあけます。

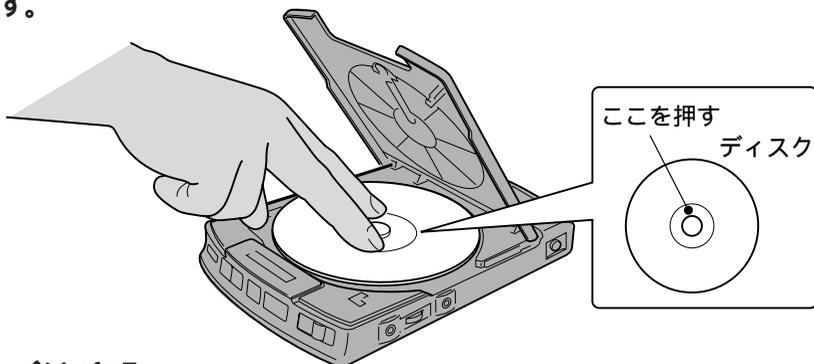


オープンボタン

- 2 ディスクを入れます。



- 3 ディスクのラベル面を上にして、ディスクが固定されるように押し込みます。



## ⚠【ご注意】

ディスクを入れるときは、無理な力をかけたり、レンズに触れないようにしてください。

# ディスクの取り出し方

1. オープンボタンを右にスライドします。
2. ディスクが止まります。
3. 「PE $\Pi$ 」が点滅し、トップカバーが開きます。
4. ディスクの回転が止まっているのを確認してから、ディスクを取り出してください。

## 【ご注意】

コンピュータに接続している場合には、コンピュータ側でディスク取り出し禁止状態に設定されます。その場合、ディスクを取り出すにはコンピュータ側からディスク取り出し操作してください。自動的にトップカバーが開きます。

## ご注意！

- 本機は電源を入れないと、トップカバーがあきません。
- また、ディスク回転中に無理にトップカバーをあけないでください。
- 本機は、高転送レートを実現するため、ディスクを高速回転させています。回転中にトップカバーがあくと、ディスクが飛び出す恐れがあるため、ディスクの回転中は、トップカバーがあかないようになっています。

## 緊急時のディスクの取り出し方法

ACアダプタ、または電池がないときに、内部のディスクを取り出したいとき  
ドライブが故障しオープンボタン、またはソフトウェアにてディスクを取り出せないとき

1. すべての接続ケーブルを本体からはずしてください。
2. 本体下面の非常用オープンボタンをスライドしてください。(→13ページ)
3. トップカバーが開きます。電池駆動による電源が入っていれば「PE $\Pi$ 」が点滅表示されます。

## ⚠【ご注意】

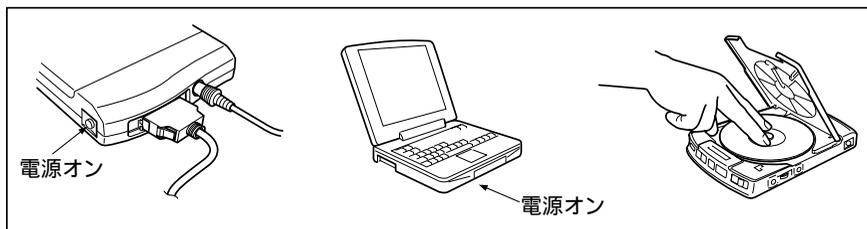
ディスクの回転中に非常用オープンボタンをスライドすると非常に危険です。必ず前面のオープンボタンを使用してディスクを取り出してください。

# 操作方法

## コンピュータと接続して使う場合

本機を操作するには、デバイスドライバとその他のファイルをコンピュータにインストールする必要があります。デバイスドライバのインストールについては、「セットアップ編」（裏表紙）を参照してください。ここでは、インストール完了後のシステムの起動と終了操作についてのみ説明します。

### システムの起動



1. 本機の電源を入れる。
2. コンピュータシステムの電源を入れる。
3. CD-ROMを本機に、正しい向きに入れる。

モードボタンを押すと動作モードが変更できます。それに従い表示も変わります。16ページを参照してください。

### システムの終了



1. コンピュータのOSを終了する。
2. コンピュータシステムの電源を切る。
3. 本機の電源を切る。

はじめに

各部分  
の  
名称

設定

接続

操作

お手  
入れ

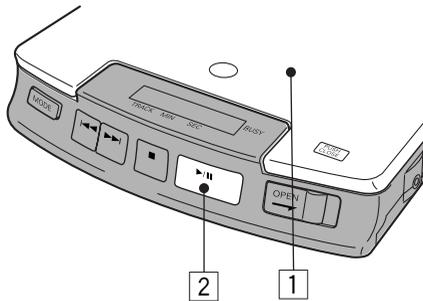
その他

セット  
アップ

## 操作方法

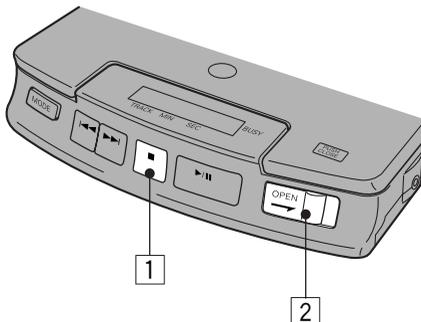
### 音楽CDを再生する場合

本機は、単独で音楽CDを再生する機能を持っています。これはコンピュータのソフトウェアを使用しないでオーディオの再生を行う機能です。



- 1 ディスクをセットして、トップカバーを閉めてください。
- 2 再生/一時停止ボタンを一度押すと、1曲目から再生します。
  - スキップボタン、モードボタンについては16ページを参照してください。

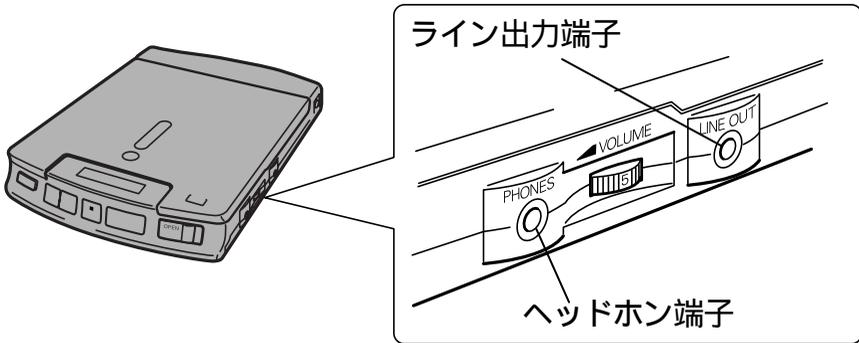
### 音楽CDの再生を中止する場合



- 1 停止/充電開始ボタンを一度押してください。
- 2 ディスクを取り出すときは、オープンボタンを右にスライドすると、ディスクの回転がストップし、トップカバーがあきます。

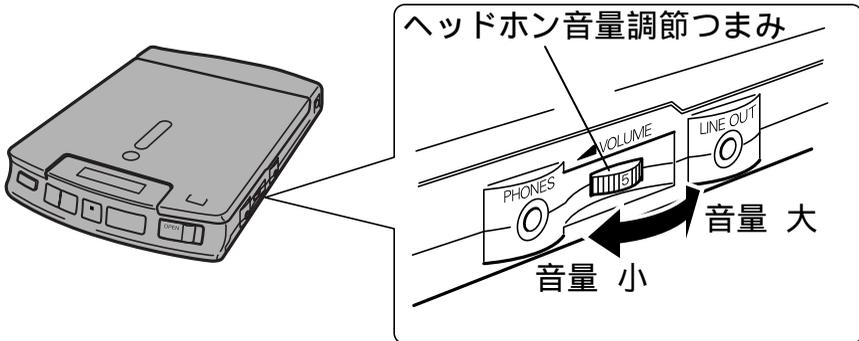
## 操作方法

音楽CDの再生はヘッドホン端子あるいは、ライン出力端子を使って聞くことができます。



### ヘッドホンの使い方

ヘッドホン音量調節つまみを右に回すとヘッドホンの音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。



はじめに

各部の  
名称

設定

接続

操作

お  
れ  
手

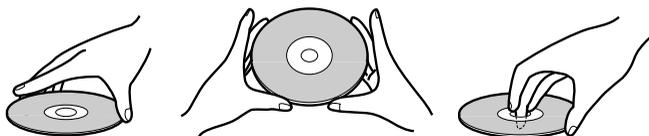
そ  
の  
他

セ  
ッ  
ト

# ディスクについて

## ディスクの取扱い

- ディスクを直接持つときは信号面(光沢面)に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



- 正しい再生をするためと振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、ディスクに紙やシールなどを貼付けないでください。



- ディスクは再生中に高速回転します。欠陥のあるディスク（ひびの入ったディスク、反ってしまったディスク、または割れたディスクをテープ類や接着剤で張合せて使用しているディスク）は危険ですので、絶対に使用しないでください。



# お手入れのしかた

## お手入れについて

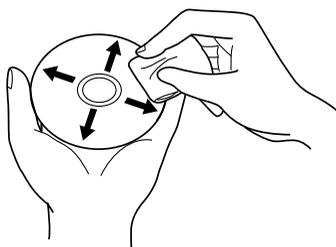
キャビネットやパネル面などは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を5～6倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。

ベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので使用しないでください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

## ディスクのクリーニング

ディスクに指紋やホコリがついた場合でも、ディスクに記録された信号には直接影響しませんが、汚れにより信号記録面からの反射光の明るさが減少して、データを正しく読み取れない場合があります。いつもディスクをきれいにしておくことを心掛けてください。

1. ディスクが単にホコリっぽいなら、ホコリを吹き飛ばすタイプの市販のホコリ除去スプレーが使えます。
2. ホコリを取り除いてから、やわらかい布で拭きます。
  - ディスクの内側から外側に向かって、放射状に拭きます。円周に沿って拭かないでください。



3. ホコリや汚れがひどい場合や、乾拭きしても取れない場合は、コンピュータ販売店でCD-ROMディスククリーナーをお買い求めください。使用方法についてはクリーナーの説明書に従ってください。

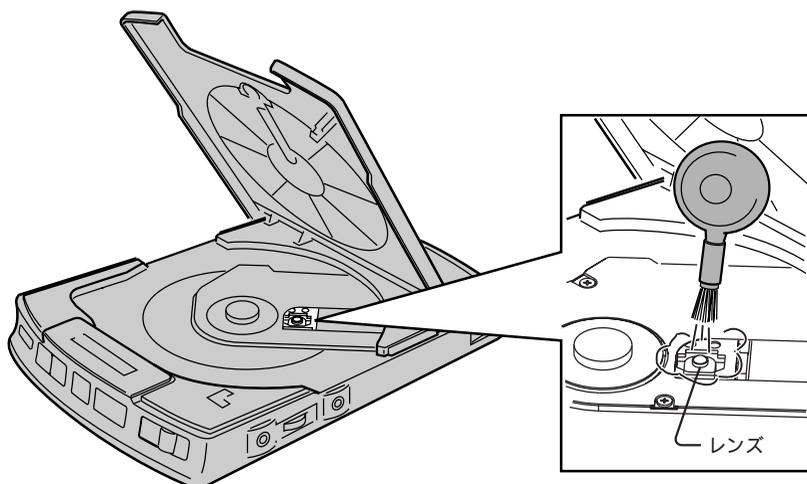
### 【ご注意】

レコードスプレーや帯電防止剤は使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがあるので、使用しないでください。

## お手入れのしかた

### レンズのクリーニング

レンズにゴミやホコリがたまると、音とびしたり、データが正しく読めないときがあります。そのときは、市販のカメラレンズ用ブローアでレンズのクリーニングをしてください。レンズに大きな力をかけないように注意してクリーニングしてください。



### 充電電池の端子の汚れは

⊕⊖の端子が汚れると充電電池が十分に機能しなくなります。柔らかい布または紙で汚れを拭き取ってください。

# 故障？ ちょっと調べてください

意外な操作ミスが故障とされています。故障かな？ と思ったら症状にあわせて下の項目をチェックしてください。

## 1. トップカバーが開かない。

- 1) アルカリ乾電池またはニカドバッテリーパックが消耗しているとき、もしくはACアダプタが接続されていないときは、オープンボタンによる操作はできません。
  - ➔ ACアダプタを本機と電源コンセントに接続するか、本体裏面の非常用オープンボタンを使用してください。
- 2) アルカリ乾電池またはニカドバッテリーパックによる電池駆動で電池容量が少ないときは、トップカバーが開かない場合があります。
  - ➔ ACアダプタを本機と電源コンセントに接続するか、本体裏面の非常用オープンボタンを使用してください。
- 3) コンピュータに接続しているときは、オープンボタンによる操作はできません。
  - ➔ コンピュータからディスク取り出し操作を行ってください。

## 2. ボタンによる操作ができない。

- 1) CD-ROMの場合、再生 / 一時停止、停止 / 充電開始、スキップボタンは使えません。
  - ➔ コンピュータ側から操作してください。
- 2) 音楽CDでも、コンピュータ側で操作しているときには、再生 / 一時停止、停止 / 充電開始、スキップボタンは使えません。
  - ➔ コンピュータ側から操作してください。

## 故障？ ちょっと調べてください

### 3. 電源が入らない。

- 1) アルカリ乾電池またはニカドバッテリーパックによる電池駆動で電池容量が少なくなっていますか？
  - ➔ 新しいアルカリ乾電池と交換するか、ニカドバッテリーパックを充電してください。
- 2) 電池がない場合でACアダプタが接続されていますか？
  - ➔ ACアダプタを本機と電源コンセントに接続してください。
- 3) 電源スイッチまたは再生/一時停止ボタンを押してすぐ放しましたか？
  - ➔ 電源スイッチまたは再生/一時停止ボタンを1秒以上押し続けてください。

### 4. 充電ができない。

- 1) 外部電源を供給していますか？
  - ➔ 付属のACアダプタを本機と電源コンセントに接続してください。
- 2) 充電用の電池が入っていますか？
  - ➔ 別売のニカドバッテリーパックを入れてください。
- 3) 電源を切った状態で、停止/充電開始ボタンを3秒以上押し続けていましたか？
  - ➔ 「CHG」が表示されるまで、停止/充電開始ボタンを押し続けてください。

### 5. コンピュータが本機を正しく認識しない

- 1) コンピュータを起動してから本機の電源を入れていませんか？
  - ➔ 本機の電源を入れてからコンピュータを起動してください。
- 2) ケーブルが正しく接続されていますか？
  - ➔ 全てのケーブルを正しく接続してください。
- 3) SCSI ID番号が正しくセットされていますか？
  - ➔ コンピュータとSCSIケーブルでつながっている機器と異なったID番号にしてください。

## 故障？ ちょっと調べてください

4) ターミネータが正しくセットされていますか？

➔ 通常はONにしてご使用ください。

5) デバイスドライバをインストールしましたか？

➔ デバイスドライバをインストールしてなければ、「セットアップ編」(裏表紙)を参照してください。

### 6. CD-ROMからデータを読み出せない

1) ディスクのレーベル面を下にしてセットしていませんか？

➔ レーベル面を上にしてディスクをセットしてください。

2) ディスクが汚れていませんか？

➔ ディスクをクリーニングしてください。

3) ディスクが傷ついていますか？

➔ ディスクを交換してください。

4) SCSIケーブルがコンピュータと正しく接続されていますか？

➔ SCSIケーブルを正しく接続してください。

### 7. 音楽CD以外の音がパソコンからでない

1) パソコンにサウンド機能が内蔵されていますか？

➔ サウンドカードを取付けてください。

2) パソコンにサウンドカードを装着しましたか？

➔ サウンドカードを取付けてください。

### 8. 音楽CDの音がパソコンからでない

1) SCSI接続の他にオーディオケーブル(別売:抵抗なしのもの)が接続されていますか？

➔ オーディオケーブル(別売:抵抗なしのもの)を接続してください。

# アフターサービス



## 保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入をたしかめて販売店から受け取り、内容をよくご確認の上大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

- 保証期間中の修理  
万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときの修理  
最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## ユーザー登録について

本機に付属のユーザー登録ハガキに必要事項を記入してご返送ください。

### パイオニアパソコンユーザーサポート

☎ 03-3495-5777（平日：午前10時～午後5時）

FAX 03-3495-4355（終日）

お電話によるお問い合わせは、回線の混雑状況によりご利用の皆様にご迷惑をおかけする場合があります。できる限り、FAXでのご利用をお願いいたします。

## 修理窓口について

本機の修理に関するご相談は、お求めの販売店または39～41ページのパイオニアサービスステーションをご利用ください。修理のご依頼は、本書の「故障？ちょっと調べてください」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障で、お困りの場合は、お近くの修理窓口（サービスステーション）へご相談ください。

# アフターサービス

## 修理窓口

はじめに

各部の  
名称

設定

接続

操作

お  
れ  
手

その他

セ  
ット

### 北海道地区

札幌サービスステーション	☎ 011 (644) 4771 〒064 札幌市中央区北2条西	FAX011 (611) 5694 20-1-3 クワザワビル
旭川サービスステーション	☎ 0166 (51) 8161 〒070 旭川市本町 2-437	FAX0166 (51) 8175
帯広サービスステーション	☎ 0155 (33) 8040 〒080 帯広市西12条北 1-19-12	FAX0155 (34) 7147
函館サービスステーション	☎ 0138 (42) 3609 〒040 函館市富岡町 2-18-7	FAX0138 (42) 4908

### 東北地区

青森サービスステーション	☎ 0177 (23) 4331 〒030 青森市勝田 2-16-10	FAX0177 (35) 2438
盛岡サービスステーション	☎ 0196 (59) 1955 〒020 盛岡市下太田下川原 153-1	FAX0196 (59) 3165
秋田サービスステーション	☎ 0188 (63) 2261 〒010 秋田市山王中島町 2-20	FAX0188 (64) 7258
山形サービスステーション	☎ 0236 (23) 3555 〒990 山形市南一番町 1-5	FAX0236 (23) 3558
仙台サービスステーション	☎ 022 (375) 8111 〒981-31 仙台市泉区上谷刈石田 20	FAX022 (375)4996
郡山サービスステーション	☎ 0249 (23) 6845 〒963 郡山市鶴見坦1-9-25	FAX0249 (39) 1372 クレールアヴェニュー 伊藤第2ビル

### 関東・甲信越地区

宇都宮サービスステーション	☎ 0286 (63) 0811 〒321 宇都宮市元今泉 5-1-9	FAX0286 (64)0657
水戸サービス指定店	(有) エービーアール ☎ 029 (248) 4820 〒310 水戸市住吉町 307-4	FAX029 (248) 1306
つくばサービスステーション	☎ 0298 (58) 2211 〒305 つくば市竹園 2-10-6	FAX0298 (58) 2210
高崎サービスステーション	☎ 0273 (23) 3179 〒370 高崎市上中居町 45-2	FAX0273 (22) 8978
新潟サービスステーション	☎ 025 (241) 1855 〒950 新潟市鎧 1-5-23	FAX025 (241) 1879
佐渡サービス指定店	横山電機商会 ☎ 0259 (63) 3400 〒952-12 佐渡郡金井町千種 1158-1	FAX0259 (63) 3400
大宮サービスステーション	☎ 048 (651) 8121 〒330 大宮市宮原町 1-310-1	FAX048 (651) 8030
千葉サービスステーション	☎ 043 (233) 1484 〒260 千葉市中央区都町 2-6-24	FAX043 (231) 9421
船橋サービスステーション	☎ 0474 (23) 4471 〒273 船橋市東船橋 1-21-12	FAX0474 (23) 4475
世田谷サービスステーション	☎ 03 (3411) 8151 〒155 世田谷区代沢 4-25-9	FAX03 (3419) 4234
両国サービスステーション	☎ 03 (3621) 7600 〒130 墨田区横綱 2-14-5	FAX03 (3621) 7610
城南サービスステーション	☎ 03 (3714) 3611 〒152 目黒区目黒本町 5-7-15	FAX03 (3791) 7834

## アフターサービス

城北サービスステーション	☎ 03 (3935) 9790 〒174 板橋区上板橋 3-11-5	FAX03 (3550) 3625 木下ビル2F
多摩サービスステーション	☎ 0425 (25)3571 〒190 立川市錦町 3-1-13	FAX0425 (24) 5947 立川ASビル3F
三宅島サービス指定店	勝見電機 ☎ 04994 (6) 1246 〒100-12 三宅村大字坪田	
横浜サービスステーション	☎ 045 (474) 0381 〒222 横浜市港北区新横浜 2-6-3	FAX045 (474) 0791 三井生命新横浜第2ビル
厚木サービスステーション	☎ 0462 (23)3741 〒243 厚木市水引 2-5-11	FAX0462 (23) 4434
* 山梨県のお客様は厚木サービスステーションへご連絡ください。		
松本サービスステーション	☎ 0263 (26) 2308 〒390 松本市征矢野 2-8-7	FAX0263 (26) 3122

### 中部・北陸地区

名古屋サービスステーション	☎ 052 (532) 1130 〒451 名古屋市西区押切 2-8-18	FAX052 (532) 1148
岡崎サービスステーション	☎ 0564 (21) 8605 〒444 岡崎市小呂町 1-5	FAX0564 (21) 8692
岐阜サービスステーション	☎ 058 (271) 8633 〒500 岐阜市六条南 2-4-9	FAX058 (274) 5256
津 サービスステーション	☎ 0592 (27) 5721 〒514 津市桜橋 1-188	FAX0592 (27) 5921
沼津サービスステーション	☎ 0559 (22) 3166 〒410 沼津市沼北町 1-14-26	FAX0559 (21) 9050
静岡サービスステーション	☎ 054 (237) 9111 〒422 静岡市高松 1-6-5	FAX054 (237) 9115
金沢サービスステーション	☎ 0762 (91) 6411 〒921 金沢市間明町 1-130	FAX0762 (91) 6425
富山サービス指定店	北陸AVサービス ☎ 0764 (25) 3008 〒939 富山市二口町 324-1	FAX0764 (25) 3027
福井サービス指定店	(有)サウンドスタッフコデラ ☎ 0776 (27) 1868 〒910 福井市大願寺 3-5-9	FAX0776 (27) 1768

### 近畿地区

大阪サービスステーション	☎ 06 (353) 3701 〒530 大阪市北区同心 2-1-26	FAX06 (353) 1145
大阪南サービスステーション	☎ 0722 (21) 1608 〒590 堺市寺地町東 2-2-8	FAX0722 (21) 0679
和歌山サービス指定店	(有)アイテック ☎ 0734(46) 3025 〒640 和歌山市和歌浦東 3-1-25	FAX0734 (46) 3026
神戸サービスステーション	☎ 078 (251) 2171 〒651 神戸市中央区磯上通り 5-1-13	FAX078 (251)7173
姫路サービスステーション	☎ 0792 (81) 5218 〒672 姫路市飾磨区三宅 1-165	FAX0792 (22) 5246
福知山サービス指定店	北近畿オーディオサービス ☎ 0773 (24) 5875 〒620 福知山市篠尾新町 2-74	FAX0773 (24) 5875 カマハチマンション
京滋サービスステーション	☎ 075 (682) 7185 〒601 京都市南区西九条豊田町 24-1	FAX075 (682) 7176
奈良サービス指定店	エルバック(株) ☎ 0742 (22) 8009 〒630 奈良市西木辻八軒町	FAX0742 (22) 1312 200-62 ナカタニビル内

# アフターサービス

## 中国・四国地区

広島サービスステーション (山口県を含む)	☎ 082 (228) 2403 〒730 広島市中区八丁堀 2-31 鴻池ビル内	FAX082 (227) 4866
岡山サービスステーション	☎ 086 (276) 1642 〒703 岡山市平井 3-1078-6	FAX086 (276) 3904
松江サービスステーション	☎ 0852 (21) 1235 〒690 松江市上乃木 4-30-34	FAX0852 (27) 8777
鳥取サービス指定店	田中オーディオサービス ☎ 0857 (29) 1489 〒680 鳥取市立川町 5-240-1	
高松サービスステーション (徳島県を含む)	☎ 0878 (62)1435 〒760 高松市昭和町 1-3-33 大商ビル	FAX0878 (61) 4841
松山サービスステーション	☎ 0899 (25) 3778 〒791 松山市山越 5-12-8	FAX0899 (24) 5573
高知サービスステーション	☎ 0888 (75) 8213 〒780 高知市寿町 4-5 共和第一ビル2F	FAX0888 (22) 1729

## 九州地区

福岡サービスステーション	☎ 092 (471) 7810 〒812 福岡市博多区博多駅南 2-12-3	FAX092 (412) 7460
北九州サービスステーション	☎ 093 (951)1746 〒802 北九州市小倉区重住 3-1-20	FAX093 (951) 1748
西九州サービスステーション (佐賀県を含む)	☎ 0942 (45) 1994 〒830 久留米市東合川町 2-3-24	FAX0942 (45) 2190
長崎サービスステーション	☎ 095 (846) 4312 〒852 長崎市扇町 1-5	FAX095 (844) 4452
熊本サービスステーション	☎ 096 (381) 1874 〒862 熊本市神水 1-32-19	FAX096 (381) 4430
大分サービスステーション	☎ 0975 (36) 0068 〒870 大分市壬子西町 8-21 植木ビル	FAX0975 (36) 6723
宮崎サービスステーション	☎ 0985 (26) 1623 〒880 宮崎市霧島 2-85-1	FAX0985 (23) 1862
鹿児島サービスステーション	☎ 099 (226) 2574 〒892 鹿児島市照国町 3-21 第二大見ビル	FAX099 (224) 7692
沖縄サービスステーション	☎ 098 (879)1910 〒901-21 浦添市字勢理客 557-1 トヨタビル3F	FAX098 (879) 1352

平成9年8月現在 修理窓口の名称・所在地・電話番号は変更することがございますのでご了承ください。

はじめに

各部の  
名称

設定

接続

操作

お  
れ  
手

その  
他

セッ  
ト  
アップ

# 仕 様

## ■ 一般

使用ディスク	CD-ROMディスク(YELLOW BOOK準拠 (8cm/12cmディスク専用))
データ転送速度	音楽CD(RED BOOK準拠) 1560~3670 KB/s (HIモード) 870~1545 KB/s (PSモード)
インターフェース	SCSI2
データバッファ	128 KB
平均アクセス時間	90ms
平均シーク時間	70ms

## ■ オーディオ出力

周波数特性	17Hz~20kHz±0.1dB(LINE OUT)
S/N比	80dB以上
ひずみ率	0.1%以下
出力レベル	0.7V rms±0.1V(LINE OUT)

## ■ 付属品

セットアップディスク(3.5インチフロッピーディスク)	1
インターフェースケーブル(0.4m)	1
インターフェースカード(PCMCIAタイプII)	1
ACアダプタ	1
取扱説明書	1
保証書	1

## ■ その他

電源	AC100V (ACアダプタ(付属)) 単3形アルカリ乾電池(AA/LR6) x 6 (市販品) ニカドバッテリーパック(7.2V,1000mAh(別売))
消費電力	CD-ROM再生時 約11W(ACアダプタ使用時)(スタンバイ時:0.7W)
電池寿命	
アルカリ乾電池	
音楽CD再生時	約2時間
CD-ROM再生時	約1.5時間
ニカドバッテリーパック(PCP-KT4-PR1J(別売))	
音楽CD再生時	約1.5時間
CD-ROM再生時	約1時間
最大外形寸法	132(幅) x 28(高さ) x 203(奥行き) mm
本体質量	370g(本体のみ)
動作温度	+5 ~ +35
動作湿度	5%~85%(結露のないこと)
保存温度	-40 ~ +60
ターミネータ内蔵(ON/OFF可)	

●仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

# ソフトウェアのご使用条件

ご使用になる前に必ずお読みください

弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。お買い上げいただいた製品につきまして、下記のとおりソフトウェアの使用、保証及び責任に関する規定を設けさせていただいております。本規定を十分お読みいただいたうえ、ご同意いただける場合のみソフトウェアをインストールするようにお願い致します。尚、本規定にご同意いただけない場合は、本製品をご購入いただいた販売店に返品くださるようお願いいたします。代金はお返しいたします。

## ソフトウェアのご使用条件

パイオニア株式会社（以下"弊社"といいます）は、本使用条件とともに提供する本ソフトウェアを使用する権利を下記条項に基づきお客様に許諾いたします。尚、期待する効果を得るための本ソフトウェアの選択、導入、使用及び、本ソフトウェアから得られる使用効果につきましてはお客様の責任とさせていただきます。

### 使用権

#### 1. 使用許諾及び著作権等

弊社は、お客様に対し、本ソフトウェアを一時に弊社製CD-ROMドライブに接続した1台の端末または複数の端末のネットワーク（それぞれの端末用にマニュアルをお買い上げいただいた場合に限り）においてのみ使用することを許諾いたします。ソフトウェア・パッケージに複数枚のフロッピーディスクが同梱されている場合には、そのうち1枚のみご使用いただけます。本ソフトウェアの著作権は、マクニカ社にございます。

#### 2. 複製の制限

お客様は、予備用とする場合に限り、本ソフトウェアを複製することができます。その場合、複製は、1枚に限らせていただきます。複製にも本ソフトウェアと同様の著作権表示をするものといたします。本ソフトウェアに付属する文面は、複写することはできません。

#### 3. 改変等の禁止

本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルをすることはできません。

#### 4. 第三者の使用

本ソフトウェア及びその複製を貸し出し、その他の方法で、第三者に使用させることはできません。

## ソフトウェアのご使用条件

### 5. 譲渡

譲受人が本使用条件に同意し、お客様が複製を一切保持されないのであれば、本ソフトウェア及び本ソフトウェアに付属する文書を一括で譲渡することができます。

#### 期間

本使用条件は、お客様が本ソフトウェアを入手された日より発効し、お客様から弊社宛の通知により終了することができます。尚、弊社はお客様が本使用条件に違反された場合は本使用権を終了させることができます。本ソフトウェアの使用権が終了した場合、お客様は直ちに本ソフトウェア及びその複製物全てを破棄するものといたします。

#### 保証及び保証の制限

弊社は、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。本ソフトウェアのご使用により発生したいかなる問題（第三者への問題も含む）に対してもお客様の責任及び費用負担により処理されるものといたします。但し、通常使用下に於て支障をきたす様な物理的欠損が本ソフトウェアの記録媒体上にあった場合はお買い上げの日が確定できる領収書または、その写しを添えて60日以内にお買い上げの販売店へお持ちください。無償にて交換いたします。

#### 責任の制限

弊社は前記保証の制限に基づいた範囲に於て責任を負います。もし、交換できない場合は本ソフトウェア及び全ての複製物を弊社へ返却されることを条件にお客様がお支払いになった代金を返却いたします。その際、本ソフトウェアの使用権は終了いたします。

弊社はお客様のいかなる損害、逸失利益に対して一切責任を負いません。また、第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害に対しても一切責任を負いません。これらの制限は損害発生に対して弊社が既に知っていた場合及び予見し得た場合にも適用されます。

#### その他

本契約に関わる紛争は、弊社の所在する地域の法律に基づいて解決するものとします。

パイオニア株式会社

〒153 東京都目黒区目黒1丁目4番1号 TEL 03-3494-1111

# 取扱説明書

## ポータブルCD-ROM ドライブ PCP-PR24W

COMPACT  
disc

セット  
アップ

### セットアップ編

まず、裏面の「操作編」を読みください。製品の取り扱いかたを説明しています。パソコンで使用できるようにするには、セットアッププログラムをパソコンにインストールしなければなりません。セットアップ方法については、この「セットアップ編」をお読みください。

#### 愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- ・ ACアダプターのコードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・ ACアダプターのコードにさけめやひび割れがある。
- ・ 電気が入ったり切れたりする。
- ・ 本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

© 1997 パイオニア株式会社 禁無断転載

# はじめに

## ノートパソコンを使用する場合

本機をCD-ROMドライブとして使用するには、お使いのパソコンにセットアップ（デバイスドライバのインストール）が必要です。この取扱説明書「セットアップ編」に従ってお使いのOS（オペレーティングシステム）に合わせたセットアップを行ってください。

Windows 95の場合⇒4～9ページ

Windows 3.1およびDOSの場合⇒10～12ページ

## デスクトップパソコンを使用する場合

あらかじめお使いのパソコンのSCSIボードのデバイスドライバをインストールしておいてください。インストール方法はお使いのパソコンもしくはSCSIボードの説明書をご覧ください。

### Windows 95 で使用する場合

Windows 95の標準機能で使用可能です。本機に付属のデバイスドライバはインストールする必要はありません。

### Windows 3.1およびDOSで使用する場合

付属のセットアップディスクを使用し、パソコンをセットアップ（デバイスドライバのインストール）する必要があります。

お使いのデスクトップパソコンにPCカード（PCMCIA）スロットがある場合は、ノートパソコンと同じようにセットアップを行ってください。

### [参考]

- 本機に付属しているインターフェースカード及びデバイスドライバは、(株)アイ・オー・データ機器製 PCSC-Fシリーズと同等です。取扱説明書やインストール中に、「PCSC-F」という名称が表示されますが、これは本機付属のインターフェースカードのことで、
- セットアップディスクのバックアップ（データのコピー）を取ることをお勧めします。詳しくは、パソコンに付属の説明書を参照ください。
- セットアップディスクには、READMEファイルが入っています。READMEファイルには、取扱説明書に記載されていない情報についても記述してあります。初めに参照してください。

## はじめに

### システムの必要条件

#### DOS/Vパソコンの場合

対応OS	<ul style="list-style-type: none"><li>● Windows 95</li><li>● Windows 3.1</li><li>● PC-DOS J6.3/V以上</li><li>● MS-DOS 6.2/V以上</li></ul>
ノートパソコン	<ul style="list-style-type: none"><li>● PCMCIAタイプIIスロットが必要です。</li><li>● PCカード・ソケットサービス（PCカードマネージャ）ソフトウェアが必要です。</li></ul>
デスクトップパソコン	<ul style="list-style-type: none"><li>● SCSI ボードとデバイスドライバー、SCSIケーブル（本機側はハーフピッチ50ピン：ピンタイプ）が必要です。</li><li>● PCMCIAタイプIIスロットがある場合は、ノートパソコンと同じように接続することができます。</li></ul>

セットアップ

- DOSまたはWindows 3.1でPCカード（PCMCIA）スロットを使用する場合はPCカード・ソケットサービス（PCカードマネージャ）がパソコンにインストールされている必要があります。このソフトはパソコンメーカーより提供され、DOSまたはWindows 3.1がプリインストールされたノートパソコンでは通常インストールされています。もし、インストールされていない場合はお使いのパソコンの説明書に従ってインストールしてください。付属のセットアップディスク内のREADMEファイルにも関連する情報が記載されていますので合わせてご覧ください。

お使いのパソコンのPCカード・ソケットサービス（PCカードマネージャ）をお持ちでない場合は、お手数ですが、パソコンメーカーにお問い合わせください。

- DOSまたはWindows 3.1でCD-ROMを使用する場合は、MSCDEX.EXEというCD-ROMエクステンションが必要になります。これはMS-DOS（PC-DOS）に含まれており、通常は起動ドライブの¥DOSというディレクトリに存在します。

# Windows 95のセットアップ

## 1 PCカード (PCMCIA) デバイスの確認

1. パソコンの電源を入れる前にインターフェースカードをパソコンのPCカードスロットから抜いておく。
2. パソコンの電源を入れる。
  - Windows 95 が起動します。
3. **スタート** をクリックし、「設定(S)」をポイントして、「コントロールパネル(C)」をクリックする。
  - コントロールパネルのウィンドウが開きます。
4. 「PCカード (PCMCIA)」アイコン  をダブルクリックする。
  - 「PCカード (PCMCIA) のプロパティ」画面または「PCカード (PCMCIA) ウィザード」画面のどちらかが表示されます。

「PCカード (PCMCIA) のプロパティが表示された場合



**キャンセル** をクリックする。

- PCカード (PCMCIA) デバイスにWindows 95用ドライバがセットアップ済みです。「**2** デバイスドライバをインストールする」へ進んでください。
- 「PCカード (PCMCIA) ウィザード」画面が表示された場合



## Windows 95のセットアップ

- (1) インストール作業にPCカードを使用しないので、「いいえ(N)を選んで **次へ>** をクリックする。



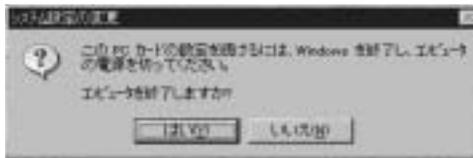
セット  
アップ

- (2) Windows 95 が検出できないドライバは選ばないので、「いいえ(N)を選んで **次へ>** をクリックする。



- (3) **完了** をクリックする。

- 「システム設定の変更」画面が表示されます。



- (4) **はい(Y)** をクリックする。

- Windows 95 が終了します。

- (5) パソコンの電源を入れる。

- Windows 95 が起動します。

## Windows 95のセットアップ

### 2 デバイスドライバをインストールする

1. 「セットアップディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入します。
2. **スタート** - ファイル名を指定して実行を起動して、「名前」に以下のように入力します。  
例) A:¥WIN95¥DDSETUP (フロッピーディスクドライブが、Aドライブの場合) 入力後、[OK]ボタンをクリックします。



3. **デバイスドライバセットアップ** 画面が表示されます。  
「インストール」が選択されていることを確認後、[OK] ボタンをクリックします。



## Windows 95のセットアップ

4. インストールするドライバを選択します。使用している機種等により異なります。

PC-9821Ne以外のPC9800シリーズの場合 ..... [PCSC-F PC-98用]

DOS/Vマシンの場合 ..... [PCSC-F DOS/V用]

PC-9821Neの場合 ..... [PCSC-F PIOモード(PC-9821Ne)]

選択後、[OK] クリックします。インストールを開始します。



5. インストール終了の画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。以上でインストールは終了です。



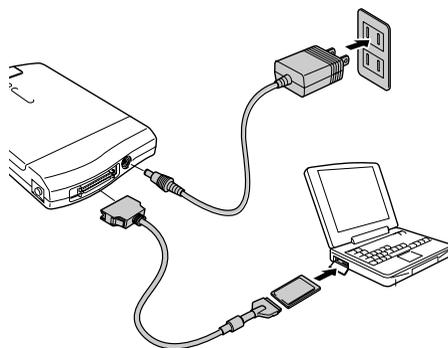
6. セットアップディスクを取り出します。

## Windows 95のセットアップ

### 3 パソコンと接続する。

ACアダプター、本機、インターフェースカードおよびインターフェースケーブルの接続については「操作編」の21～23ページを参照してください。

1. 本機の電源を入れる。
2. PCカードスロットにインターフェースカードを確実に装着する。
  - 「新しいハードウェア…」のメッセージが表示されます。「新しいハードウェア…」のメッセージの表示が消えると、セットアップ完了です。



#### [ ご注意 ]

パソコンによっては、インターフェースカードの挿入面が表裏逆になるものがあります。

### 4 セットアップを確認する。

1. 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする。
  - 「マイコンピュータ」のウィンドウ内にCD-ROM ドライブ  の表示が追加されていれば、セットアップは成功です。

#### [ ご注意 ]

 が表示されない場合は、13、14ページの「故障？ちょっと調べてください」を参照してください。

## Windows95を使用中にインターフェースカードを取り外したいとき

インターフェースカードは、Windows95の使用中でも取り外すことができます。ただし、PCカードの動作を終了しないでインターフェースカードをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生することがありますので、インターフェースカードをPCカードスロットから取り外す際には、インターフェースカードに接続したSCSI機器にアクセスがないことを確認してから、以下の手順に従ってください。

1. インターフェースカードに接続したSCSIカードにアクセスがないことを確認したら、タスクバーのPCカードのアイコンをクイックします。



2. 「PCSC-F UltraSMIT PCMCIA SCSI Card ..... の中止」を選んだ後、クリックします。



3. 以下の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



4. インターフェースカードをスロットから取り外します。  
再度インターフェースカードを使用する場合は、PCカードスロットに挿入すれば使用できます。

# DOS/Windows 3.1のセットアップ

## DOS/Windows 3.1用

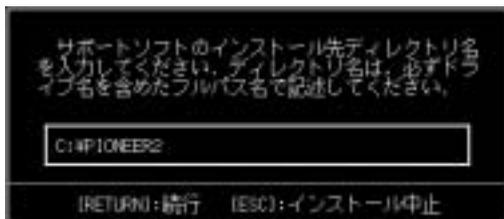
### Windows 3.1またはDOS でのインストールに際して

インターフェースカードをお使いになるためには、カードサービス、ソケットサービスとよばれるPCMCIAソフトウェアがパソコンにインストールされている必要があります。ノートブックパソコンの多くはこのソフトウェアがすでにインストールされていますが、インストールされていない場合は、まずこのソフトウェアのインストールを行ってください。（PCMCIAソフトウェアのインストール、その他詳細については、パソコンに付属のマニュアルをご参照ください。）

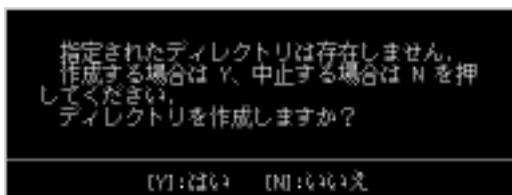
## 1 デバイスドライバをインストールする

1. 付属のインターフェースケーブルと本機、付属のインターフェースカードを接続します。
2. ノートブックパソコンの電源を切ります。
3. 本機の電源を入れた後、インターフェースカードをパソコンのカードスロットに挿入します。
4. パソコンの電源を入れてDOSを起動します。  
(Windows 3.1が起動している場合は終了してください)
5. 「セットアップディスク」をフロッピーディスクドライブに入れます。
6. 次のようにタイプしてリターンキーを押します。  
a:¥ フロッピーディスクドライブがAドライブの場合  
c:¥ フロッピーディスクドライブがCドライブの場合  
b:¥ フロッピーディスクドライブがBドライブの場合  
フロッピーディスクドライブはDOS/V機の場合はAドライブ、PC-98シリーズ機の場合はCドライブまたはBドライブであることが多いです。ご使用のパソコンに応じて正しいドライブ名を入力してください。
7. INSTALL とタイプしてリターンキーを押します。
8. 最初にこのプログラムの説明が表示されます。そのままキーを押して、先に進みます。
9. サポートソフトのインストール先ディレクトリを指定します。表示されているディレクトリでよければ、キーを押して先に進みます。

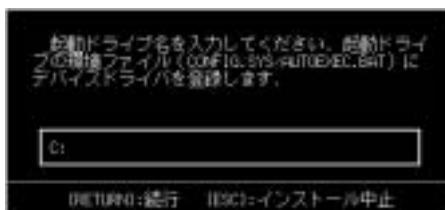
## DOS/Windows 3.1のセットアップ



10. 指定したディレクトリがない場合は、作成確認のメッセージが表示されます。[Y] キーを押して下さい。ファイルのコピーを開始します。

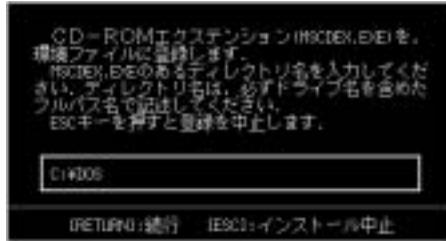


11. コピー終了後、起動ドライブの確認画面が表示されます。表示されているドライブでよければ、キーを押して先に進みます。

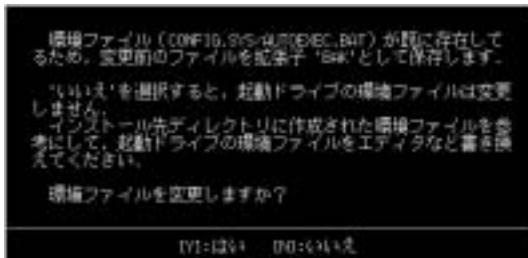


12. CD-ROMを使用する場合、CD-ROMエクステンション(MSCDEX.EXE)が必要となります。本プログラムでは、MSCDEX.EXEをインストール先ドライブなどから検索しますが、見つからない場合には、MSCDEX.EXEの存在するディレクトリを入力するためのダイアログが表示されます。正確なMSCDEX.EXEの存在するディレクトリ名、またはMSCDEX.EXEおよびMSCDEX.EX\_が入ったフロッピーディスクドライブ名を入力してください。インストールが続行できます。もし、MSCDEX.EXEをお持ちでない場合には[ESC]キーを押せば、作業を続行することができます。ただしこの場合は、CD-ROMドライブの組み込みは行われません。

## DOS/Windows 3.1のセットアップ



- 13.環境ファイル(CONFIG.SYS/AUTOEXEC.BAT)の書き換え画面が表示されます。特に問題のない場合は、[Y]キーを押して下さい。[N]キーを押して書き換えを行わなかった場合には、インストール先ディレクトリにサンプルが作成されますので、サンプルを参考にして環境ファイル(CONFIG.SYS/AUTOEXEC.BAT)をお手持ちのテキストエディタで編集してください。(編集内容の詳細に関しては、README 31を参照してください。)



- [注意] 本インストールプログラムはマルチコンフィグレーションに対応していません。マルチコンフィグレーションの場合は、この画面で[N]を押してください。

- 14.インストール終了の画面が表示されますので、インターフェースカードをPCカードスロットに差した状態でリセットしてください。再起動後にドライバが有効となります。
- 15.セットアップの確認をしてください。

DOS起動中の表示の中でMSCDEXが起動するときのメッセージをご覧ください。

例 . MSCDEX Version 2.25

Copyright (C) IBM Corp. 1986-1995 All rights reserved.

Drive F: = Driver SCF001 unit 0

この中でドライブ名が表示されていればセットアップは成功です。(上記例の場合はドライブFにCD-ROMが割り当てられています。)

## 12 (セットアップ編)

<QRA1073>

# 故障？ ちょっと調べてください

## Windows 95 の場合

セット  
アップ

- デバイスドライバのインストールを行ったのに本機がパソコンで使用できない場合  
操作編の「接続」のページ（21～26ページ）に従って正しく接続してください。

- 本機、インターフェースケーブル、インターフェースカード、各々の接続は正しいですか？
- 本機の電源は入っていますか？

いいえ

正しく接続されていることを確認し、本機の電源を入れた後、パソコンにインターフェースカードを確実に奥まで挿入し直してください。

はい

DOSまたはWindows 3.1用のセットアップを実行しませんでしたか？

実行した

「セットアップ編」の4～8ページにしたがってWindows 95用のセットアップを行ってください。

実行していない

Windows 95のセットアップ後、はじめてインターフェースカードをパソコンに挿入したとき、「新しいハードウェア・・・」のメッセージは表示されましたか？

いいえ

PCカード（PCMCIA）デバイスがセットアップされているか、「セットアップ編」の4ページに従って確認してください。

はい

確認

「PCカードのプロパティ」を以下の手順で開いてください。

- (1) **スタート** をクリックし、「設定(S)」をポイントし、「コントロールパネル(C)」をクリックする。
- (2) 「PCカード(PCMCIA)アイコンをダブルクリックする。  
「PCカードプロパティ」で以下の項目を確認する。

① アイコン

② 名称



(次ページに続きます。)

## 故障？ちょっと調べてください

はい

① アイコンが「」になっていますか？

② 名称 (PCSC-F UltraSMIT PCMCIA SCSI Card ..... ) の部分が、7ページで選択したのになっていますか？

いいえ

### 準備

「デバイスマネージャ」を次の手順で開いてください。

- (1) **スタート** をクリックし、「設定(S)」をポイントし、「コントロールパネル(C)」をクリックする。
- (2) 「システム」アイコンをダブルクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする。

はい

- (1) リストの中で、上記①と同じアイコンの左の **+** をクリックすると、**+** が **-** になって、すぐ下に新しい行が表示されます。
- (2) 新しく表示された行の中で、上記②と同じ名称の行をクリックし選択します。
- (3) 下の **削除** ボタンをクリックし、さらに確認のメッセージに対し、**OK** ボタンをクリックします。
- (4) パソコン、CD-ROMドライブともに電源が入った状態で、ケーブルが接続されたまま、PCカードを一度抜き、再度パソコンに挿入します。
- (5) 「新しいハードウェア・・・」というメッセージが数秒表示され、CD-ROMが自動的に認識されます。

はい

「操作編」の「故障？ちょっと調べてください」35～37ページやREADMEファイルおよびWindows 95 のヘルプを参照してください。それでも使用できない場合は、「パイオニアパソコンユーザーサポートセンター」(操作編：38ページ)へご相談ください。

## 故障？ちょっと調べてください

### DOSまたはWindows 3.1 の場合

ドライバのインストールを行ったのに本機がパソコンで使用できない場合

セットアップ

本機とインターフェースカードは付属のインターフェースケーブルによって正しく接続されていますか？  
また、インターフェースカードはパソコンのPCカードスロットに確実に奥まで挿入されていますか？

いいえ

「操作編」の「接続」（21ページ）を確認して、本機の電源を入れ直した後、パソコンを再起動してください。

はい

本機の電源を入れてから、パソコンの電源を入れましたか？

いいえ

本機の電源を入れ、パソコンを再起動してください。

はい

パソコンのシステム設定ファイル（AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYSなど）が変更されていませんか？  
（他の周辺機器をあとからセットアップしませんでしたか？）

変更した

「セットアップ編」の10～12ページにしたがって再度セットアップしてください。

はい

スロットが複数あるパソコンをお使いの場合、起動させた時と違うスロットにインターフェースカードを入れていませんか？

違うスロット

同じスロットを使用してください。

表示されていない

「操作編」の「故障？ちょっと調べてください」（35～37ページ）およびREADMEファイルを参照してください。それでも使用できない場合は、「パイオニアパソコンユーザーサポートセンター」（操作編：38ページ）へご相談ください。